

学校だより青南

12月号

平成27年12月1日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

<http://www1.r4.rosenet.jp/seinan-es/>

心の中の花

校長 関 幸治

青南小学校を訪れる多くの方々から、「青南小学校の周りは、きれいな花がいっぱいですね。どなたが世話をされているのですか。」と聞かれることがたびたびあります。「青南ガーデニングクラブとって、青南小学校のPTAのOBを中心としたボランティアの方々定期的に花を植えてくださっています。」と答えています。どの方も、口々に素晴らしいですね、羨ましいですとおっしゃってくださいます。季節ごとの花に囲まれ、学校に来るのがとても楽しみなのは、私だけではないと思います。そのきれいな花の間とその花の名前を記した札の間に、【防犯カメラ作動中】【苗を戻してください】といった小さな立て札が立てられています。目を楽しませてくれる風景には似つかわしくない物のように映ります。

これには、こんな訳があるのです。ガーデニングクラブの方々心を入れて植えてくださった苗が、いつの間にか苗ごと持ち去られてしまったのです。それも幾度となくです。子供たちや地域の方々楽しんでいただくというクラブの方々の思いも台無しになってしまいました。苗がなくなったところには、穴だけがむなしく残っていました。このようなことがあって、前出の札が立てられたのです。持ち去った人は、「きれいな花が咲くに違いない、一つぐらい持っていてもわからないだろう」「公共(学校)の物だから持って行ってもかまわない」「人が見ていないから」と思ったのかもしれませんが。この考えは、世界遺産に登録された様々な物に落書きをしたり、何気なく持ってきてしまったりすることと同じような気がします。昔から、「お天道様が見ている」といって、自らの行為を律する言葉がありました。たとえ誰も見ていなくても、その行為をしている自分は自分を見ているのだということです。こういう考えは、私たち大人がしっかりと子供たちに教えていかななくてはならないことだと思うのです。子供たちには、「無人島で紳士たる者が本当の紳士である」ということを知らしめていきたいと考えます。子供たちが大人になったときに、「あの立て札がいつの間にかなくなったね」と笑えるようにしたいと思います。

11月号でお知らせしましたが、2泊3日で6年生と移動教室に行ってきました。この間、5年生以下の学年には、昨年と同様に一つ学年を上にと伝えました。5年生と6年生で組織する委員会活動(青南には11委員会あります)では、6年生がいない間、5年生が一生懸命に活動を継続していたと報告がありました。来年度の中心となって活動してくれる5年生が意識をもってくれたことをとても頼もしく思います。その他の学年の子供たちも、きっとその様子を見て、心に期すことがあったのではないかと思います。12月の第1週で縦割り班活動の運営が6年生から5年生にバトンタッチされます。6年生の思いが、しっかり5年生に通じていくことでしょう。また楽しみが増えました。

《12月行事予定》

- 2日(水) B時程
- 3日(木) お話ポケット (4年)
委員会活動
- 4日(金) 縦割り班活動
- 5日(土) 土曜授業
児童集会
租税教室(6年)
- 7日(月) 全校朝会
保護者会 (1・2・3年)
港区子どもサミット
- 8日(火) 歯科検診 (1・2・3年)
保護者会 (4・5・6年)
- 9日(水) B時程
避難訓練
- 10日(木) お話ポケット (1・2年)
歯科検診 (4・5・6年)
安全指導日 クラブ活動
- 14日(月) 音楽鑑賞教室(5年)
- 16日(水) B時程
- 17日(木) お話ポケット (3年)
代表委員会
- 19日(土) 土曜授業
体育朝会
- 21日(月) 全校朝会
- 22日(火) 縦割り班活動
ミニコンサート
- 24日(木) 給食 (終)
- 25日(金) B時程
終業式
大掃除



12月の生活目標 【学校をきれいにしよう】

生活指導部

2学期も残すところあとわずかになりました。学期のまとめの時期です。

教室はもちろん、さまざまな場所をきれいに使えているか振り返り、教室はもちろん、さまざまな場所で「いつもありがとう」の気持ちをもって過ごすことを指導していきます。毎日使っている場所に感謝して、学校を隅々までピカピカにしていきます。また、鍵盤ハーモニカ、絵の具、習字セットなどの荷物は計画的に持ち帰ります。紙袋等の準備をお願い致します。

身の回りの空間を整え、気持ちよく3学期が迎えられるよう、学校全体で取り組んでいきます。

学芸会

11月13日(金)、14日(土)の2日間に渡って学芸会が行われました。今年度の学芸会テーマは『全校を笑顔にさせる学芸会』でした。本番では、練習の成果を存分に発揮し各学年とも笑いあり、涙あり、感動ありの内容でした。2年に一度しかない学芸会ということもあり各学年、一人一人が協力し一つの劇を作り上げてくれました。



算数

～重さ比べをしよう～

先日、3年生はてんびんを使って身の回りにあるものの重さを比べました。「だれの消しゴムがいちばん重いかな?」「普段使っている道具で重いものはどれだろう。」子供たちはいろいろな予想をしながら取り組みました。

小さな消しゴムも意外に重くてびっくり!などの発見もありました。



2年

校外学習「上野動物園」

10月17日（金）に上野動物園へ校外学習に行ってきました。二学期が始まってから生活科や国語で、動物について学習してきました。生活科では、動物の本を見ながらワークシートにまとめ、動物の生態系や生息地について調べました。また、国語の「動物園のじゅうい」では、獣医さんや飼育員さんの仕事のことなど、動物以外のことも知ることができました。

当日は、「この動物は〇〇だよ。」や「本当にこんな動きするんだ。」などと、学習したことを活かして園内を回ることができました。事前に調べていたことで、実際の動物を見た時に学んできたことを実感していたようです。

また、電車でのマナーや、挨拶、友達との協力など、春に行った校外学習から大きく成長した姿を見せてくれました。



4年

理科「体のつくりと筋肉の動き」

「体のつくりと筋肉の動き」についての学習を行いました。日頃の実験や観察と違い、体の中を見ることは難しいです。そこで、東京工業大学からアームロボットを借りたり、国立科学博物館から人体骨格の模型を借りたりして、なぜ肘や膝が曲がるのかを学習しました。その後、鶏の手羽先を使って、曲がることによって筋肉の収縮が起こることを学習し、肘の模型を割り箸とみかんの入っているネットを使って作りました。

外部の力を借りることによって、目には見えないものを分かりやすく学べ、子供たちは目を輝かせていました。

日頃食べている肉が筋肉であること、骨の数の違いで体の動き方が違うこと、動くための骨と臓器を守るための骨があること、筋肉をつなぐ腱の働きなど、たくさんすることに気付くことができました。



6年

狂言「柿山伏」鑑賞（鍊仙会）

11月19日（木）に、鍊仙会に狂言鑑賞に行ってきました。鍊仙会は江戸時代中期から続く演能団体で、青南小学校のすぐ近くに能楽堂があります。今回は、国語の教科書でも取り扱われている狂言「柿山伏」を、青南小学校と青山小学校、筈小学校の3校で鑑賞しました。

思わず柿を食べてしまった山伏と、その山伏を懲らしめてやろうとする柿主との絶妙の掛け合いに、子供たちから何度も笑い起こりました。鑑賞後は、代表児童が狂言の基本動作を体験したり、全員で声を出してセリフの言い回しを体験したりしました。

現代劇とは言葉の使い方や表現の仕方も違う狂言ですが、いつの時代にも通じる人間の心の在り様を子供たちは感じることができたようです。



代表委員会

計画委員会、各委員会の委員長、そして4年生の代表委員からなる代表委員会は今までに様々な取り組みをしてきました。運動会のスローガンを決めたり、青南小学校がもっと素晴らしい学校になるためにはどのようにしたらよいかを話し合い、全校に「決まりをまもろう！」とポスターを作って呼びかけたりしました。また、先日行われた学芸会のテーマも、全校児童に使いたい言葉をアンケートを取って決めました。11月18日の109回目の開校記念集会を計画し、みんなで運営もしました。

子供たちが自分たちで意見を出し合い、話し合っていて決めています。初めは「代表委員会って責任大きくて大変そう。」と硬い表情だった子供たちも、今では積極的に発言し、自分たちの力でよりよくしていこう！という意欲が見られます。これからも、募金活動やいじめゼロ宣言など色々取り組みます。

学校のため、精一杯頑張る代表委員会、これからも応援よろしくお願いします！

イラスト・まんがクラブ

6年生1名、5年生12名、4年生12名の25名で活動をしています。トレーシングペーパーに好きな絵を写したり、オリジナルの絵や4コマ漫画を描いたりして楽しんでいます。活動中の作品は、不定期の更新ですが保健室向かいの掲示板に作品を展示しています。学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。



バドミントンクラブ

バドミントンクラブは、4年生7名、5年生5名、6年生5名の計17名で活動しています。6年生が中心となり練習メニューを考え、主に基礎練習・試合を行っています。

4月の時点では、「バドミントンを初めて経験する！」「ラケットを初めてさわる！」という子供が多かったのですが、基礎練習の成果が出始めていて、今では長いラリーが続くようになってきました。月一回の活動のため、「次のクラブが待ち遠しい！」「早く試合をやりたい」という声もあがっています。

毎時間、意欲と向上心、そして笑顔があふれるバドミントンクラブです。

